

1年「言語文化」の様子です。

令和4年9月15日

現代版「ものづくり」を書こう

清少納言『枕草子』の中の「ありがたきもの」を学習した後、現代版「ものづくり」を書くという活動を行いました。古典文学は苦手意識を持つ生徒も多いですが、自分の体験と照らし合わせ、共感するポイントをみつけながら読むことができました。

また随筆（エッセイ）を書く活動では、初挑戦だったにもかかわらず、読み手を引きつけるように表現を工夫しながら書くことができました。



作品集

「ありがたきもの（めったにないもの）」

「10分だけ寝る」と言って本当に10分だけ寝ること。

あまり仲良くない人との「今度遊ぼうね」の口約束で実際に遊ぶこと。

「怒らないから言って」と言われて言ったときに怒らない人。

予定の時間通りに支度すること。服装や髪型が時間通りに支度できたからと

いって、他のことが時間通りに終わることはめったにない。

テストのときに「勉強してない」と言って本当に勉強してない人。

「うつくしきもの（かわいらしいもの）」

小さい子供がくつの音をならしながら歩いているとき。

猫があたたかい日向でのんびりお昼寝をしているところ。

友達が好きな人と一緒に帰りたけれど話しかけられない様子。

一生懸命お引越しするカルガモの親子。

大会帰りに疲れて同じ姿勢で並んで寝ている様子。

小さなものが一生懸命頑張っている姿はみなうつくし。

「かたはらいたきもの（いたたまれないもの）」

かたはらいたきもの。一発芸をして静まりかえるとき。

道端で段差につまずきすました顔で早歩きで逃げるとき。

自分の名前を呼ばれたかと思い、周りを見渡していたけど結局自分のことではなかったとき。

自転車に乗りながら誰もいないと思い歌を歌っていたが、曲がり角に人がいたとき。

授業中に寝てたら急にビクッ！てなって起きるとき。

電車でTikTokなどを見ようと思って開いたらまあまあ大きい音が流れたとき。

「心がホッコリするもの」

ホッコリ、ホッコリ、心がホッコリ、中学校の親友と久しぶりの再会が嬉しすぎる！

ホッコリ、ホッコリ、心がホッコリ、道端に落ちていたセミを助けて一躍大ヒーロー！

ホッコリ、ホッコリ、心がホッコリ、家中にあるホコリを取り除くとホッコリ

ホッコリ、ホッコリ、心がホッコリ、あまり笑わないあの子が笑うとホッコリ

ホッコリ、ホッコリ、心がホッコリ、田舎にある祖母の家に行って哀愁にひたってホッコリ

ホッコリ、ホッコリ、心がホッコリ、一日を一生懸命に生きて、

家に帰り、ふとんにもぐってホッコリ

僕は今日もホッコリしていく

「輝いてみえるもの」

ものも人も手に入れた瞬間に輝きはいっきに失われる気がする。

海外が輝いてみえるのも、小学生の頃、中学生が、スーツ姿で仕事をしている大人が、

輝いてみえたのは体験したことがないからだと思う。宇宙が輝いてみえるのも、

そのせいかもしれない。

誰かにとっての日常が、ある人の非日常であるように、あなたの当り前はあの子の憧れ。

だから私はゆっくり輝きをみつけて、ゆっくり体験したい。



So good.
So cool,
Soya!

